

9/12

なりたい自分になるために 植物園リカレント研修室講座「1+1」

いちたすいち

今年リニューアルした海浜植物園で、リカレント研修室講座「1+1」が開講され、初回は県内外から36人が参加し、「自分を深掘り」をテーマに話し合いました。

講師に尾野寛明さんを招き参加者同士が、自己紹介をして話し合うことで、自分がどのような人間であるのか、自身をどう思っているのかを知り、なりたい自分の将来像を考え言葉にする大切さを学びました。

この講座は、子育て世代や市内在住の女性を対象に、今の自分や働き方を見なおしたい人の新たな一歩を応援する場として、来年2月までに全6回行われる予定です。



9/28

~30

地域の悩み解決へ 西の杜学園で起業体験「杜の駄菓子屋さん」



西の杜学園で「杜の駄菓子屋さん」が開催され、3日間で児童・生徒や多くの地元住民がお客として訪れました。

これは、8年生が「起業体験」を通して西部地域の抱える問題について考え学ぶ「ふるさとコミュニティ科」の一環で、地域の人と触れ合い、悩みを聞き出す交流の場として開催したものです。

当日は駄菓子が売り切れるほどの盛況ぶり。地域の人からお借りした昔懐かしいフィギュアやおもちゃが醸し出す昭和の雰囲気「懐かしい」「子どもの頃を思い出す」という声も。新校舎の見学ツアーも開催され、学園は、子どもたちと地域の人々の笑顔と会話でにぎわいました。

今後は、地域の悩みを一緒に解決するために「杜の便利屋さん」を開催予定。駄菓子屋さん社長の角田涼介くんは「これからもさまざまな活動を通して、学校と地域が連携し、西部地域を盛り上げていきたい」と語ってくれました。

10/2

体で表現 パントマイム公演

プロ舞台芸術家による富山県学校巡回劇場が比美乃江小学校で開催され、6年生67人が鑑賞し、体を使った表現に取り組みました。

全国で公演を行うはせがわ天晴^{あっぱれ}さんら2人によるパントマイム公演が行われ、パントマイム、曲芸やバルーンを用いて、言葉を使わずに体でコミュニケーションをとる表現を学びました。

はせがわ天晴さんは、海外の言葉が通じない相手にも自分の考えや思いを伝えることができるとパントマイムの魅力を伝えました。

